

吐出量が減少してきたと感じた場合

■ブレードの調節

- ブレードのピンが摩耗すると吐出量が減少します。ピンの摩耗していない方を外側に向けてください。

①締付用キャップと軸側キャップを外し、ロータを引き出します。

②ロータに組み込まれているブレードを取り外してください。

③ブレードについているピンをスライドさせて引き出し、摩耗していない方を外側に向けてください。

④ピンを戻したら、ロータと②で外したブレードを組み込んで、本体へ取り付けます。

※組付け時に、再度グリスアップすることを推奨します。

⑤軸側キャップ、締付用キャップをきつく締めて、取り付けてください。

※軸側キャップはキャップの凸部と本体の溝がはまるように取り付けてください。

※金属板が外れた際は、キャップと金属板との間にグリスを塗り、金属板がピッタリ納まる位置へ取り付けてください。(③ページ<金属板が外れた場合>参照)

※調節後も吐出量が改善しない場合は、ブレードを交換してください。

■ブレードの交換

- ピンの摩耗により吐出量が減少した場合は、上記「ブレードの調節」の手順でブレードを取り出して、交換してください。

※ブレードは4個で1組になっております。交換は必ず4個同時に行ってください。

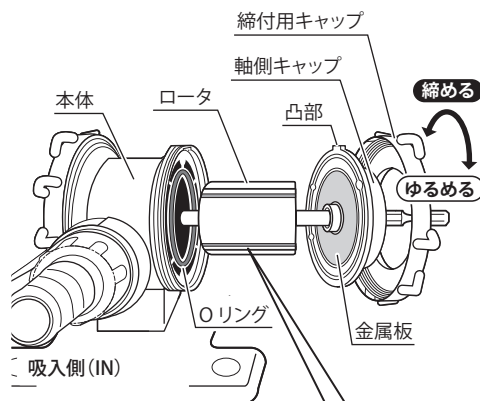
■ロータの交換

- 軸折れなどにより、ロータの破損があった場合は上記「ブレードの調節」の手順でロータを取り出して、交換してください。

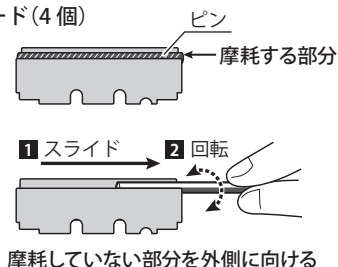
別売部品

- 下記部品は別売しております。お買い上げの販売店、または当社までお問い合わせください。

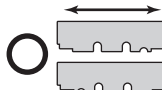
部品名	品番	入数
水龍用部品 ブレード	DPS-01B	1組(4個)
水龍用部品 フィルタ	DPS-01F	1 個
水龍用部品 ロータ	DPS-01R	1 個



●ブレード(4 個)



※ブレードをロータに組み込む時、左右はどちらの向きでもかまいません。



保管について

- お客様の手の届かない、適切な場所に保管してください。
- 直射日光の当たらない場所で保管してください。
- 低い温度で保管する場合は、内部の水が凍結しないように、なるべく水を切って保管してください。

新潟精機株式会社
〒955-0061 新潟県三条市林町1丁目22番17号
☎(0256)33-5501(代) FAX(0256)33-5551
URL <https://www.niigataseiki.co.jp>
E1067-Z3 2404

SK 電ドルポンプ 水龍

取扱説明書

品番：DPS-01

この度は、電ドルポンプ 水龍をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みになり、必ず保管してください。

用 途

水の移送や給・排水に。
電気ドリルのチャックに六角軸を取り付けて使用します。

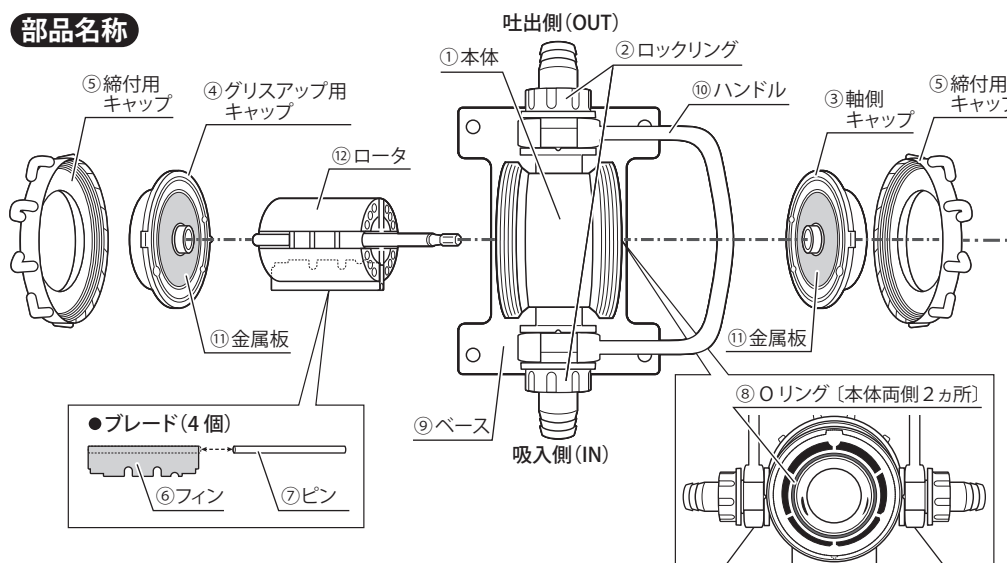
仕 様

本製品と吸入側の水面に高低差がある場合は“呼び水”が必要です。

適 用 流 体	土砂や異物が混入していない水 ※裏面のご注意をよくお読みになり、ご使用ください。		
吐 出 揚 程 (参考値)	約 20m	シャフト取付軸	6.35mm 六角軸
吸入可能揚程 (参考値)	約 50cm ※1	適 正 回 転 数	2000 ～ 3000min ⁻¹
揚 水 量 (参考値)	約 50L/min ※2	適 用 ホ ー ス	内径φ18 ～ 20mm 耐圧ホース
使用 温 度 範 囲	10 ～ 30℃	吸入側ホース長	1m以下
保 管 温 度 範 囲	0 ～ 40℃	付 属 品	ホースバンド2個、フィルタ、取扱説明書

※上記の参考値は、電気ドリルを回転数約3000min⁻¹で使用した場合です。能力数値は、使用するドリルの能力・性能によって変動します。
※1：ホース・ポンプ内に、水が全く入っていない状態での数値。
※2：本体と吐出側ホースを平地で使用した場合。

部品名称



■部品材質一覧

No.	部 品 名	材 質	No.	部 品 名	材 質
①	本体	POM	⑧	O リング	NBR
②	ロックリング	POM	⑨	ベース	PP
③	軸側キャップ	POM	⑩	ハンドル	PP
④	グリスアップ用キャップ	POM	⑪	金属板	ステンレス
⑤	締付用キャップ	POM	⑫	ロータ	樹脂部分：POM シャフト部分：ステンレス
⑥	フィン	POM(ガラスビーズ入り)			
⑦	ピン	NBR			

⚠ ご注意

- 土砂や異物が混入していない水の汲み上げに使用してください。細かな砂・砂利を含んだ水はロータやブレード、本体内部が傷つき、回転中に破損する恐れがあります。
- 揮発性の高い混合オイル、石油類（灯油・軽油・重油）、ガソリン、シンナーなどの液体、洗浄力の強い液体、酸性の強い液体には使用しないでください。また、粘度の高い液体にも使用できません。

- 電気ドリルでの使用を推奨します。
打撃系電動工具で本製品を使用する場合は、打撃が掛からないよう注意してご使用ください。打撃を加え続けて使用すると、本体及び内部部品が破損する恐れがあります。
- 30秒以上の連続空転、及び1分以上の連続運転はおやめください。長時間で使用する場合は、軸が高温にならないように、断続的にご使用ください。
- 飲み水や生物のいる水槽の汲み上げ・吐出には使用しないでください。グリスが混入する恐れがあるので危険です。
- 作業は正しい服装で行ってください。
- 取り付けは確実に行ってください。
- 落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 大きな力がかかるので、無理な姿勢での作業はおやめください。
- 本製品の用途以外のご使用は、事故やけがの原因となりますので、絶対におやめください。

使用方法

■ハンドルの固定

- ハンドルは、ロックリングをゆるめると前後自由に動かせます。
- ハンドルは本体側の溝とハンドル側の突起が合わる位置でロックリングをしっかりと締め、固定してください。

■ベースの固定（推奨）

- 運転時に強い力がかかるので、ベースの四隅にある、コーススレッド用ビス穴を使用して木材などに固定してからの使用を推奨します。（適用コーススレッド：4.2mm）

■ホース、フィルタの取り付け

- ①ホース取り付けの際は、あらかじめホース側にゆるめたホースバンドを通しておきます。

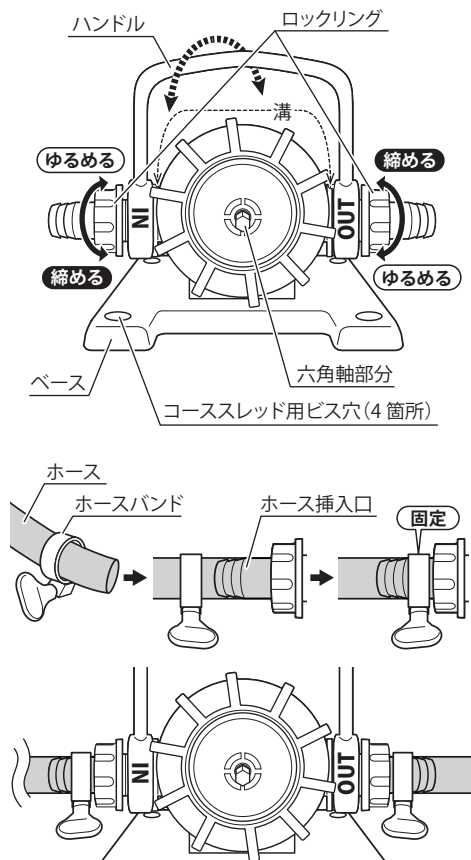
※ホースは耐圧ホースをご使用ください。

- ②ホース挿入口にホースをしっかりと挿し込み、その上からホースバンドでしっかり固定してください。

※ホースバンドの固定がゆるいと、水漏れの原因となります。

- ③吸入側（IN）のホースの先に、付属のフィルタを取り付けてください。

※付属のフィルタは、必ず吸入側に取り付けてください。吐出側に付けると水圧で外れ、危険です。



使用方法

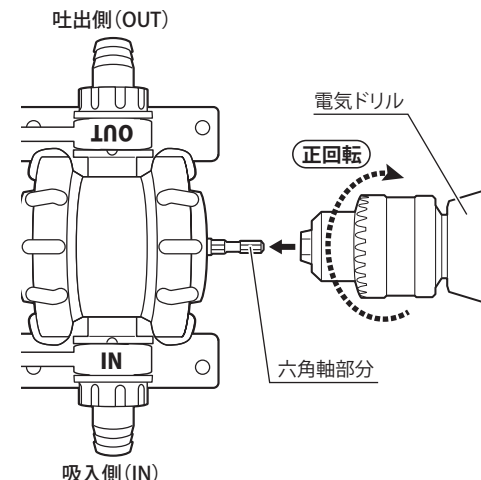
■電気ドリルの取り付け

- ①六角軸部分に電気ドリルのチャックを取り付けます。
- ②運転前に、ドリルの回転方向が正回転になっていることを確認してください。
- ③運転時には大きな力が掛かるため、本体ベースの固定が無い場合は、ハンドルを固定してしっかりと持ち、運転を始めてください。

※高低差がある場合は、吸入側ホースに呼び水を循環させてから運転してください。

【呼び水】吸入側のホースと本体内部に水を満たした状態のことをいいます。

※呼び水を使っても吸入がうまくいかない場合は、④ページの「吐出量が減少してきたと感じた場合」を参照してください。



保守と点検

本製品にグリスは付属しておりません。市販のグリスをご用意ください。グリスのちょう度はNo.0～No.2、シリコンを含むグリスを推奨します。

■使用後のグリスアップ

- しばらく使用していると、内部のグリスが減少して、ブレードのピンが摩耗しやすくなります。使用後はグリスアップを推奨します。

- ①締付用キャップとグリスアップ用キャップを外して、本体とロータの隙間からグリスアップしてください。
- ②ロータ全体にグリスが循環するように、六角軸をつまんで、ロータを回してください。
- ③グリスアップ用キャップと締付用キャップをきつく締めて、取り付けてください。

※グリスアップ用キャップは、凸部と本体の溝がはまるように取り付けてください。

<金属板が外れた場合>

※キャップと金属板の間にグリスを塗り、下図のように金属板が納まる位置に合わせて、取り付けてください。

